

さいたま市インフルエンザ情報（速報）

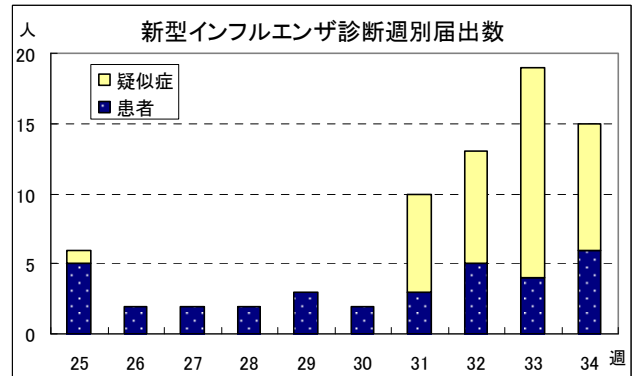
2008-2009 年シーズン、第 34 週（8 月 17 日～8 月 23 日）

★インフルエンザの流行期に入りました！

I. 新型インフルエンザ患者届出状況

第 34 週に 26 人の届出（患者 6 人、疑似症 20 人）がありました。年齢階級別は、0-9 歳 4 人、10 歳代 7 人、20 歳代 1 人、30 歳代 1 人、40 歳代 2 人、50 歳代 7 人、60 歳代 4 人でした。市内の累積届出数は 74 人です。（グラフは診断週で作成）

新型インフルエンザの感染が拡大しています。予防及び感染拡大防止のため、手洗い・ウガイ・咳エチケットの励行、並びに体調の悪いときは早めに休み、受診するよう、お願いします。



7 月 24 日以降は、クラスター（集団発生）サーベイランスによる届出を集計

II. インフルエンザ患者発生報告状況

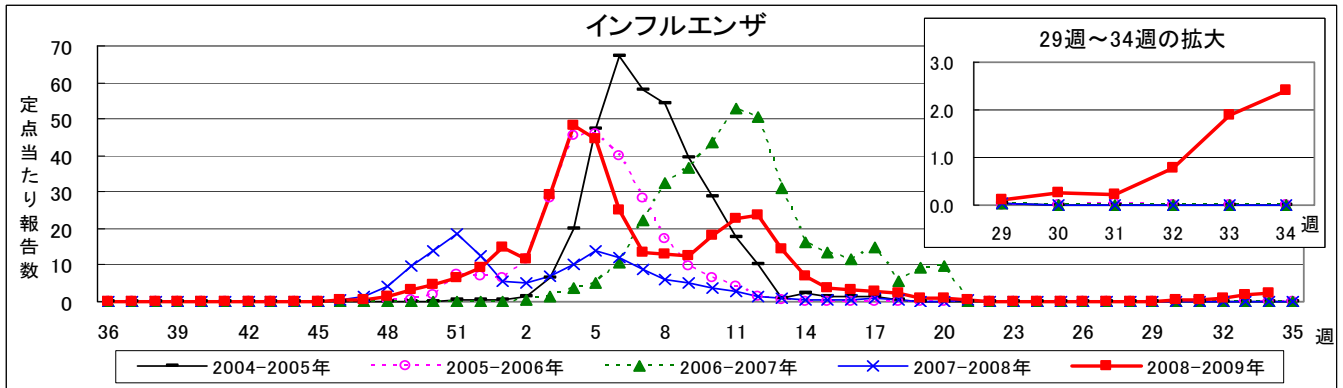
感染症発生動向調査による市内定点医療機関からの患者報告状況

定点医療機関からの患者報告数は 87 人、「定点当たり報告数」は、先週の 1.88 人から 2.42 人と増加し、2 週連続して流行開始の指標となる「定点当たり報告数 1.0 人」を超え、流行が始まったものとみられます。また、ウイルス検出状況から、そのほとんどが新型インフルエンザ患者と考えられます。

年齢階級別では、0-9 歳が 39 人と最も多く、次いで 10 歳代が 31 人でした。

国立感染症研究所インフルエンザ流行レベルマップ第 33 週によれば、全国の「定点当たり報告数」は、1.69 人、そのほとんどが新型インフルエンザに、罹患（りかん）しているものと推定されるとしています。

※ホームページ「さいたま市感染症情報センター」に、「咳エチケット」などの予防情報、「自宅療養時の注意点」を掲載しています。ご活用ください。



III. 市内病原体定点等からのインフルエンザ検体ウイルス検出状況について

インフルエンザ検体のウイルス検出状況（第34週）
※すべて患者数で記載

検体採取週	検体数 (患者数)	陽性数	インフルエンザウイルス			
			Aソ連	A香港	B	新型 AH1pdm
08年第36週 ～09年第14週	34	34	19	9	6	17
第18～30週	50	32	0	15	0	
第31週	3	3	0	0	0	3
第32週	9	9	0	0	0	9
第33週	11	11	0	1	0	10
第34週	21	19	0	0	0	19
合計	128	108	19	25	6	58

市内で直近の 4 週間（第 31～34 週）に採取された 44 件中 41 件から新型 AH1pdm ウイルスが検出（PCR 検査）されています。

国立感染症研究所週報第 32 週によれば、直近の 5 週間（第 29～33 週）に、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、新型 AH1pdm が 1,951 件、AH3 亜型（香港型）が 40 件、AH1 亜型（ソ連型）が 7 件報告されています。（8 月 13 日現在報告分）

※この情報は 8 月 25 日午後 3 時現在の速報です。後日データの修正をすることがあります。